

ロシア語を学ぶ方達へ

0. はじめに

北海道はロシアと地理的に近く、歴史的にもロシアとの交流の要ともなってきた土地柄なども考慮に入れると、ロシア語を学ぶことは非常に意義深いことであるといえるでしょう。しかしながら、ロシア語学習者にとって常に壁となりうるのは、そのための参考書選びや、辞書選択などであるともいえます。というのも、例えば大学入試のセンター試験などで必須の英語などと比べると、まず第一に参考書の数が少なく、学習のシステムについても、残念ながらそれほど整っているとはいえません。このような状況の中でロシア語を学習される皆さんにとっては、各々にとってのレベルに合わせた良質な教科書・参考書・辞書選びが語学学習を左右するといってもほとんど間違いありません。私自身ロシア語学習において何度も挫折を経験した経験もありますので、この機会に皆さんに私の経験を踏まえた、ロシア語学習に有益と思われる参考書等をお伝えしたいと思います。

1. 辞書

1-1. 露和辞典

ロシア語で会話することなどが主な目的である方にとっては、露和辞典はポケット露和辞典などの小さな辞書でもかまわないと思われます。持ち運びしやすいので、そういう形態の辞書は一冊あると重宝するでしょう。

また、ロシアのインターネットや、新聞、詩や小説なども読んでみたいという方にはオーソドックスな形態の辞書である岩波露和辞典や研究者露和辞典などがお勧めです。純粋な語彙数だけで見てみると、現在は研究者の露和辞典が最も語彙数の多い辞書となっているようです。

1-2. 和露辞典

和露辞典は、露作文の際や、実際にロシアの人々と会話する際に使うものですが、複雑な会話等を行いたい場合には、言葉調べのためなどにまず間違いなく必要となってくるものです。初級者の場合や、簡単な会話など、用途が限られている場合にはハンディ用の小さな和露辞典や、和露と露和のセットになった辞典などで十分だと思われますが、必要に応じて語彙数の多い辞典なども持っておくとよいでしょう。

2. 参考書

2-1. 文法書

はっきり言いまして、多くの参考書などが日本には存在します。悪い参考書というものはありませんが、経験上有益だった参考書を紹介してみたいと思います。

文法に関してみると、現在最も優れた文法書の一つとしてあげられるのが城田俊著の現代ロシア語文法だといえるでしょう。ロシア語は、言葉の語順などにはほとんど制約がない代わりに、言葉の持つ格などの性質がとても重要になってくるため、文法を覚えられるか否かがロシア語学習における重要点とならざるを得ません。この書物は、文法に関してほとんど完全に網羅されている書物なので、ロシア語を勉強されている方なら一冊持っていて差し支えない良書であるといえるでしょう。一つの難点は、学習書としては余り向いていないということでしょうか。ロシア語の文を読んでいて、文法が分からない場合などに読むべき書物でしょう。

学習書兼文法書として優れていると思われるのが、除村吉太郎著、露文解釈から和文露訳へ、白水社でしょう。この書物の優れているところは、ロシア語文章のすぐ隣に日本語訳が存在しており、さらに文法解釈も詳しいために、スラスラと勉強を行っていきえるということで、学習書としては、私の観点からしてみると現在最良の書の一つといえるでしょう。難点といえば、出版された年が古いために言葉がソヴィエト的であるという点と、一番惜しむらくは既に絶版しているという点です。良書には間違いないので、手に入る機会がありましたら是非入手していただきたいと思います。

2-2. 単語集

語彙数というのは、語学の要の一つであることは間違いありません。実を言いますと、大変なことに、英語と比べてみると、英語では高校レベルで3000~4000語くらいの語彙数が必要とされていますが、ロシア語で例えば新聞レベルなどの文章を読むとするならば、7000~8000あるいはそれ以上の語彙数が必要とされるということで、そう簡単な道のりではありません。こうなると、文章をたくさん読めば、それで単語力がつくというほど簡単な問題ではなくなります。このような際に単語集を持っているととても便利となるのです。

そこで、現在お勧めの単語集が阿部昇吉著の今すぐ話せるロシア語単語集、東進ブックスです。この単語集には基本的な1600語の単語が収められており、関連性のある単語がカテゴリー別に分類され、例文もついています。また、イラストつきで掲載されており、初心者にとってはうってつけの教科書となるでしょう。

2-3. 文書集

言葉を覚える基本というのは、しかしながら基本に帰ってみますと、やはり沢山言葉に触れることです。そのような中で、自分の学習レベルに見合ったロシア語の文章を見つけてということは、実を言うとそう簡単なことではありません。このような中でお勧めするのが、和文対訳、アクセントつきのロシア語集です。例えば左ページにはロシア語が、そして右ページにはその日本語対訳がついているという形式の本であり、ちょっとした時にあまり肩肘張らずに勉強を進めることが可能です。ナウカさんのところなどでも、恐ら

く入手することが可能でしょう。

3. 最後に

少ないながらも、有益であろうと思われる文法集などを紹介していきましたが、最後に語学勉強のコツとしてあげられるのは、読む、書く、話す、聞くの4つの要素を平行して行っていくことです。また、何よりも楽しんで勉強するということも大切なことでしょう。言葉を理解することで多くの人々と交流でき、理解し会えるということはとても有意義なことだろうと思っています。皆さん、有意義な学習と有意義な人生を。